

問区の新型インフルエンザ対策の考えについて伺う。

答国の新型インフルエンザ対策行動計画と同ガイドラインの改定を受け、東京都とも調整を図り、危機管理体制を整備し対策を充実させていく。

地域の核となる公園の整備

問(仮称)新宿六丁目公園の名称について、区民に親しまれるような名前を考えるべきである。どのように決めるのか。

答同公園が区立公園で最大規模のものであり、区民に親しまれる公園となるよう、名称を広く公募した上で決定していきたい。

区役所改革

問企業経営の手法など、民間部門からの発想が不可欠であると考え、どのように進めていくつもりなのか。

答企業経営に関する専門的な知識を持つ民間事業者を活用して、区役所改革に取り組んでいきたい。

自由民主党区民会議

小中一貫教育の早期開設と新中川橋架け替え

定額給付金

問プレミアムは、区内経済の活性化に大きな意味を持つと思うが、どうか。

答他自治体の結果を見る必要がある。

問葛飾区の業務継続計画(BCCP) 区民を巻き込んだ計画とすべき。

答区民と考えを共有できる計画とする。

小中一貫教育

問他の学校でも連携教育を充実すべき。答成果は他の学校にも取り入れたい。



小中一貫モデル校(松上小・新小岩中)

新中川橋架け替えと沿川まちづくり

問路線バスの運行を検討すべき。答事業者と連携し、構築していく。

きれいな街づくり

問カラスや野良猫被害の対策を伺う。答果の撤去や猫よけ器材の貸与等を行っている。

地域教育の充実と

問中青戸小学校の改築。答どのような効果を期待しているのか。

答社会性の育成や家庭教育の支援など。

中青戸小学校の改築

問専門家の助言を得て計画策定すべき。答コンサルタントを活用して検討する。

区内交通網の整備

問交通網整備を重点に方針策定すべき。答都市計画マスタープランで検討する。

放置自転車の問題

問青砥駅周辺の駐輪場整備予定を伺う。答21年度に1か所を整備予定である。

青戸地区コミュニティ・ゾーン

問区内全域で整備すべきではないか。答次期事業として、立石・堀切・四つ木地区の着手を行っている。

日本共産党葛飾区議会議員団

53億円の大学支援について区民への説明責任をはたせ

大学誘致

問東京理科大学への財政支援のあり方。答土壌汚染の問題なども含めて、区民との合意を得ることを基本線に進めるために、契約や協定の取り決めを延期すべきだと思うがどうか。



大学誘致予定地(新宿)

問模化を解消すべきではないか。答既存クラブを分割して運営するなど対応している。

問中川・綾瀬川の埋め立て計画はやさしい都市づくりに逆行する

地球温暖化対策

問本区の温室効果ガス削減目標は、3%である。もっと積極的な高い目標を持つべきではないか。

答区内企業の手本となるよう、削減に向けた率先行動をより一層進め、温暖化対策を推進していきたい。

中川親水河川・防災ベルト構想

問構想では中川流域と綾瀬川の計10kmを埋め立て、スーパー堤防を築くとしている。これは、環境にやさしい都市づくりに逆行するのではないか。

答治水対策として堤防強化・高台避難地の確保を目指す問題提起の一つとして提案されたものと理解している。

民主党葛飾

問妊産婦にやさしい環境づくりと医療機関との連携

景気対策

問今後の景気対策をどのように考えているか。また、区がどこまでを責任範囲として考えているか伺う。

答区内の中小企業経営や区民生活に対し、区内産業の活性化、公共事業の実施、消費の拡大、雇用の確保の4点を主な景気対策として取り組んでいきたい。また、緊急経済対策として、経済的な基盤の弱い中小企業や商店の支援を可能な限り実施していきたい。

問他の質問項目 アンケート など

学童保育クラブ

問70人を超えるクラブについて、大規模化を解消すべきではないか。

問医療機関との連携から専門医につなげていくネットワーク体制を確立すべきと考えるがいかがか。

答医師会などでも精神科以外の一般医に、うつ病についての理解を深める取り組みが始まっている。かかりつけの医師から専門医へつなげていくことが重要だと認識し、今後も関係団体に働きかけていく。

妊産婦にやさしい環境づくり

問本区は、国のマタニティマークの方策をどのように対応してきたか。また、マタニティマークの存在を広く区民に知らせる啓発活動をするべきと考えるが、いかがか。

中川親水河川・防災ベルト構想

問本区は、国のマタニティマークの方策をどのように対応してきたか。また、マタニティマークの存在を広く区民に知らせる啓発活動をするべきと考えるが、いかがか。



マタニティマーク

問平成20年度から全員に、母子健康手帳とともにマタニティマークのついたキーホルダーを配布し、育児支援ガイドブックにもマタニティマークについて説明している。今後は区のホームページに掲載するなど、広く周知できる方策を検討していく。

問区がリーダーシップを取り、助産師、医師の調整役になっていくべきと考えるがいかがか。

答助産師、産婦人科医師との協働をより円滑なものにし、病院や診療所における助産師の活動の場をひろげるよう、今後とも医師会を通じて働きかけていきたい。

問他の質問項目 安全な分娩ネットワークづくり など

葛飾区民連合

問BCCP(業務継続計画)の取り組み、綾瀬川の再開

本区のBCCP(業務継続計画)

問区長の所信表明におけるBCCP導入のねらいを示されたい。

社会福祉協議会のBCCP

問社会福祉協議会と連携するべきでは。答双方が連携するよう情報交換したい。

中小零細企業のBCCP

問区内企業へのバックアップ体制とかわりは、今後どうあるべきか。

綾瀬川の再開

問汚染されていた綾瀬川をソウル市の清溪川(チョンゲチョン)のように清流に再開できるのではないか。



清溪川(チョンゲチョン)

問並行河川や首都高速の対応が課題であり、今後、さまざまな可能性について議論を進めていきたい。

AEDDの小学校配置とレンタル

問小学校への早急な設置を要望する。答近隣の設置状況を勘案し検討したい。